

白梅賞に特別養護老人ホームときわ寮梅の里の伏見和美さんが受賞されました。

知事が社会福祉の向上に大きな功績があった人をたたえる白梅賞の平成26年度受賞者が発表され、日高地方からは御坊日高老人福祉施設事務組合特別養護老人ホームときわ寮梅の里の総括主任介護員、伏見和美さんが選ばれた。

伏見さんは平成3年5月から日高郡十ヶ町村及び御坊市老人福祉施設事務組合特別養護老人ホームときわ寮梅の里臨時寮母、同年7月から正式に寮母として採用。同所事業開始の当初から、高齢者福祉の最前線で勤務。平成22年から梅の里で介護の分野での総括主任介護員を努めている。

入浴や排せつ、食事などの身の回りの世話といった介護のほか、コミュニケーションを取って生活全般の良き相談相手となっており、平成7年に介護福祉士平成13年に介護支援専門員の資格を取得するなど常に向上心を持ち、その仕事ぶりから、利用者からも信頼が厚い。

伏見さんは「介護には技術面が大事なのはもちろんですが、思いやりをもって接することと職員のチームワークが大切。これらを心がけるよう、他の介護員とも話し合っています。」

長寿社会により、認知症など介護度の高い利用者が多く、伏見さんは「以前より、サービスが多様化しており、介護の現場は厳しいものがあるが、職員が一丸となって明るい雰囲気のある梅の里を作れているのがありがたい」という。

伏見さんはこれまで全国老人福祉施設協議会長感謝状や表彰状を受けており、今回の白梅賞受賞について「まさか、私が選ばれるとは思っておらず、驚いている。同僚や周りの支えてくれた皆さんのおかげ」と感謝の言葉を述べている。

紀州新聞の記事より

居住地のみなべ町の小谷町長様 管理者の美浜町の森下町長様へ受賞の報告

